

未来への責任

コロナによって様々な課題が浮き彫りとなり、私たちの意識改革や行動変容が進みました。

今世紀中、少子高齢社会が続くことを前提に
**「未来を創造（イマジネーション）」し、
政策を創造（クリエイティブ）する」**ことが
政治の重要な役割です。

全ての政策を有機的にコーディネートし、
提案力によって旧態依然とした壁を突破することが
必要とされる時代であり、
「勇気ある決断と責任ある実行」が
政治に求められています。

人口減少時代にこそ、目指すは
公と民の垣根を越えて創り上げる
「全員参加型社会」
「社会」も「環境」も「行政」も、
全てに
「持続可能な社会」

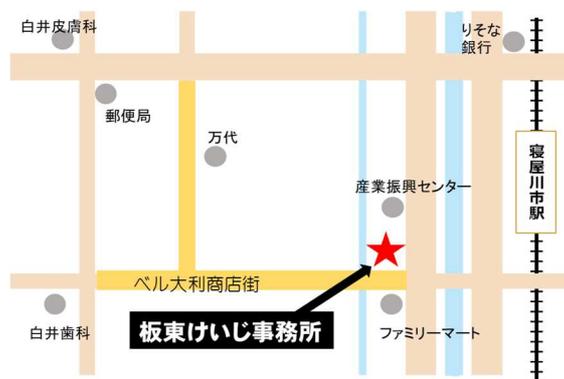
社会全体で「改革」のスピードと
質を上げ、改革による果実を
誰もが享受できる社会を
実現します。



「頑張る拠点」のお知らせ

ベル大利商店街内の駅寄りの所に事務所を設置しました。
お気軽にお立ち寄りください。

住所：寝屋川市東大利町2-20
（旧滝本種苗店・地図参照）
TEL：072-826-1113



命を守る。生活を守る。

～安全安心を確かなものに～

- ◆「災害」「犯罪」「健康危機」などに対する危機管理能力の向上。
- ◆「一人暮らし高齢者」「高齢者のみ世帯」への見守り体制の強化。
- ◆「道路の傷み」や「近距離交通手段」など、全ての人への移動の安心を確保。
- ◆体感治安に不安感を与える物理的・社会的な無秩序を改善。

活力ある人と活力あふれるまちへ。

～人生100年をトータルコーディネート～

- ◆少子化対策・子育て支援のパラダイムシフト。強かに推進するタスクフォースの設置。
- ◆シルバー世代への福祉・健康・生活のトータル窓口。ワンストップ人材がコーディネート。
- ◆人生のライフステージを通じた健康戦略。（ビッグデータを最大限活用）
- ◆数字的根拠のある産業支援と、その果実としての市内雇用の増加。
- ◆物価高対策としての住民の可処分所得の増加策＝事業者への支援。

文教都市への転換。

～スポーツ・文化・地域施設の充実～

- ◆全市的に施設一体型小中一貫校へ移行することの決断。
⇒移行実現まで、既存の教育施設は早期に改善。
⇒移行後に使用しない学校施設は、スポーツ・文化・地域に開放。
- ◆答が1つしかない教育から、想像力と創造力を養う教育へ。そして共同で創造する教育へ。
- ◆文化芸術拠点の整備。

持続可能性を徹底追及。

～将来世代の安心を保障～

- ◆環境・・・「地球規模で考え、生活レベルで実践」これから10年が大きな鍵。
エネルギー高騰を契機として脱炭素の促進。
- ◆地域組織・・・能力に応じて全世代が支え合う「共助」「互助」の再構築を支援。
- ◆公共施設・・・世代別人口構成の変化と、そのニーズに合わせた最適機能への転換。
- ◆ルール、システム・・・人口増加・経済拡大を前提に作られた遺物を一掃。
- ◆人口減少・・・「国家レベルで考え、市で支援」(仮称)人口減少・少子化対策会議の設置へ。

デジタルと友達に。

～そして、より快適な未来社会を～

「交通」「防災」「見守り・介護」「まちづくり」「教育」「健康」「e-スポーツ」「行政サービス・行政改革」「政策立案」に対し、具体的なデジタル技術の提案を重ねてきました。今ある多くの課題は、デジタルで軽減される可能性が大いにあります。デジタルを上手く社会に溶け込ませ、効率化によって生まれた時間と人材を、人や地域をコーディネートする役割へ転換することは、時代の要請です。